

学年	中学3年	教科	社会	科目	社会	単位数	4
教科書名	社会科 中学生の歴史 (帝国書院) 新しい公民教科書 (自由社)			副教材名	新中学問題集 公民 (教育開発出版株式会社)		
コース・クラス	中高一貫クラス						

## I. 目標

### 共通

1. レポート作成や課題学習、発表等を通じて、様々な資料を活用させ、社会的事象を多面的・多角的に思考・判断・表現する力を育成する。

### 歴史

1. 歴史的な事柄に対する関心を高め、歴史に対する愛情と国際社会に生きる日本人としての資質を養う。
2. 歴史的な基礎知識と我が国の歴史の大きな流れを確実に理解・習得する。

### 公民

1. 現代の社会的事象に対する関心を高め、公正な判断力と自ら社会に関わろうとする姿勢を養う。
2. 民主主義や経済・国際的諸問題に関する基礎知識を確実に習得する。

## II. 授業のねらい

1. 教材やDVD・課題学習・校外学習・発表コンクールなどを通じて、社会に関する興味関心を持つ。
2. 重要用語・人物などに関する反復学習を通じて、確実に基礎知識を身につける。
3. 事前学習⇒校外授業⇒発表のサイクルで学習に取り組み、思考・判断・表現力を高める。
4. セクションごとに問題演習の時間を設け、初見問題にも対応できる確かな学力を身につける。

## III. 授業の進め方

1. 1学期で歴史分野を終わらせ、2・3学期に公民分野を学習する。
2. 教科書の記述だけではなく、資料集や問題集を有効的に活用して発展的な内容を取り入れる。
3. アクティブラーニングを実施し、授業内容の理解を深める。(電子黒板やクラッシーノートの利用)
4. 小テストを学期ごとに複数回実施し、基礎的な知識を身につけると同時に、勉強の習慣を身につける。

## IV. 学習上の留意点

1. 単発の記憶ではなく、いつ・誰が・どこで・何をして・どうなったかを関連付けて覚えること。
2. 板書の書き写しだけでなく、授業内の内容を細かくメモを取り、付随する知識も身につけること。
3. 配られた資料は、自己管理すること。

## V. 定期試験

- 1学期 中間試験 : 歴史 : 第5章 (第2節・第3節・第4節)
- 1学期 期末試験 : 公民 : 序章、第1章、第2章、第3章 (第1節)
- 2学期 中間試験 : 公民 : 第3章 (第2節・第3節・第4節) 第4章 (第1節・第2節)
- 2学期 期末試験 : 公民 : 第4章 (第3節) 第5章 終章

## VI. 評価の方法

- ・各学期の定期試験      ・小テスト、提出物、授業態度      ・課題学習の成果

Ⅶ. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標	
一学期	4	<p>&lt;歴史分野&gt;</p> <p>第5章</p> <p>第2節 高まる民主主義の意識</p> <p>第3節 軍国主義と日本の行方</p> <p>第4節 アジアと太平洋に広がる戦線</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期テスト</li> <li>●小テスト(複数回実施)</li> <li>●提出物</li> <li>●授業への意欲・関心など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●二国間の戦争ではなく、世界大戦が生じるようになった背景、それぞれの同盟の特徴を理解する。</li> <li>●第二次世界大戦の背景、戦況など、時代の流れを理解する。</li> <li>●戦後社会における、東西冷戦構造を理解し、現代の平和に向けた動きについて考える。</li> </ul>	
	5	<p>&lt;公民分野&gt;</p> <p>序章 現代日本の自画像</p> <p>第1章 個人と社会生活</p> <p>第2章 立憲国家と国民</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>●現代社会のとらえ方、考え方、公民的な学習の学び方を身につける。</li> <li>●民主主義のあり方や日本国憲法の基本原理を理解する。</li> </ul>
	6	<p>第3章 日本国憲法と立憲的民主主義</p> <p>第1節 日本国憲法の国家像</p>			
	7				
二学期	9	<p>&lt;公民分野&gt;</p> <p>第3章 日本国憲法と立憲的民主主義</p> <p>第2節 議会制民主主義</p> <p>第3節 三権のはたらき</p> <p>第4節 地方公共団体の仕組みと課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期テスト</li> <li>●小テスト(複数回実施)</li> <li>●提出物</li> <li>●授業への意欲・関心など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●民主主義のあり方や日本国憲法の基本原理を理解する。</li> <li>●国会、内閣、裁判所、三権分立について、それぞれの働きと共に、なぜそのような仕組みが必要かを理解する。</li> <li>●民主政治とその成立過程について理解する。民主政治と国民の政治参加、政治の基本原理について理解する。</li> </ul>	
	10	<p>第4章 国民生活と経済</p> <p>第1節 豊かさを生む経済のしくみ</p> <p>第2節 政府の経済活動</p> <p>第3節 幸せな経済生活</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>●経済の概念を総合的にとらえ、自らに関わることとして理解する。</li> <li>●経済の学習を通して、働くことの意義を考える。</li> <li>●政治と経済は連動していることを理解する。</li> <li>●国際政治（環境、平和、開発など）における日本の立場を理解する。</li> <li>●日本・世界が抱えている差し迫った諸問題について、自らが関係することとして考える。</li> <li>●国際的な諸問題に対して、多面的に捉えた上で、「私たちに何ができるか」を考える。</li> </ul>
	11	<p>第5章 国際社会に生きる日本</p> <p>第1節 国際社会の仕組み</p> <p>第2節 国際連合のはたらきと国際政治</p> <p>第3節 世界と日本の安全保障</p>			
	12	<p>第4節 人類の未来と国際社会</p> <p>終章 持続可能な社会を目指して</p>			
三学期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ学習</li> <li>「日本の良いところ」を伝える</li> <li>・3年間の復習</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●オーストラリア研修に向けて、日本とはどのような国かを、他国の人に発信できるようまとめる。</li> </ul>	

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。